

「本当の咬合調整」を実践するための決定版マニュアル!

歯界展望別冊

実践

Practical Occlusal Adjustment
and Function

咬合調整テクニック

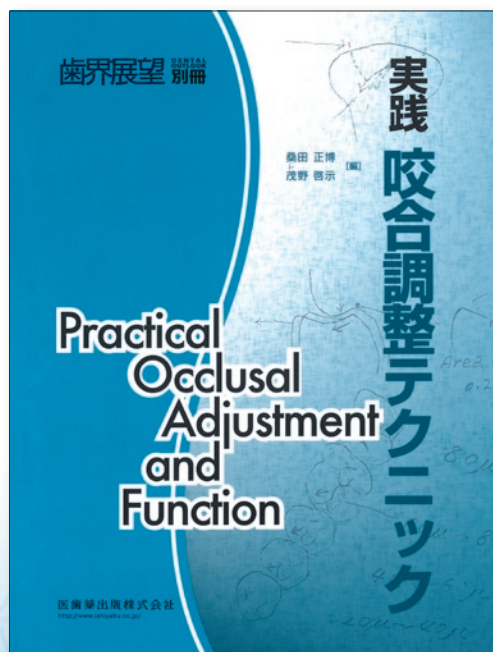
桑田 正博 (愛歯技工専門学校長)

茂野 啓示 (北山茂野歯科医院院長)

編

■A4 判変型・128 頁・オールカラー

■定価 5,775 円 (本体 5,500 円+税 5%)



- 咬合調整を実践するための、臨床において「真に役立つマニュアル」です。
- 正常な顎口腔機能を維持・獲得するうえで、咬合の診査とそれに基づく咬合調整の重要性は言うまでもありません。しかし実際は、咬合紙を咬ませてから、「どの部をどの程度切削すればよいのか」「削るだけで調整が済むのか」といった調整方法とその根拠を明確に示した情報は少ないのが現状です。
- 本別冊では、「近代咬合学の父」と称される Dr. Schuyler の咬合調整の臨床術式を整理し、Dr. Schuyler の咬合調整のサポートを行ってきた桑田先生に、「歯科医と歯科技工士のチームで行う咬合調整」を茂野先生と誌面で再現していただきました。
- 現代流にアレンジした咬合調整テクニックをアトラス形式で提示し、わかりやすく学べるマニュアルとしました。
- 臨床クオリティを高めるために必携の一冊です!

C O N T E N T S

Chapter 1 咬合状態の診査・診断と顎口腔機能との関係

- Section 1 咬合状態の評価と顎口腔機能との関係
- Section 2 咬合接触点の評価法と診査・診断の要点

Chapter 2 生理的咬合調整のコンセプト

——修復物および天然歯に与える咬合の考え方とスカイラーによる咬合調整の術式

- ・PFM クラウン研究開発の過程で認識した咬合の重要性
- ・失敗しないラボワークを熟考し辿り着いた、咬合とクラウンカントウアの考え方
- ・Dr. Schuyler による咬合調整の実際

Chapter 3 チェアサイド・ラボサイドのコンビネーションによる咬合調整の実際

Section 1 早期接触の除去を目的とした咬合調整

咬合調整の目的と手順
術前診査
バイトワックスによる咬合診査
中心位における咬合採得 (centric bite taking)
中心位における早期接触の印記
Trim off (削る咬合調整)
Add on (足す咬合調整)

Section 2 早期接触の除去と下顎偏心運動時の咬頭干渉除去を目的とした咬合調整

フェイスボウトランスファー
自然頭位での中心位の採得
チェックバイト法による矢状顎路角・側方顎路角の設定
側方運動の調整
Trim off (削る咬合調整)
Functional re-contour (ファンクショナル・リカントウア)
Add on (足す咬合調整)
Esthetic re-contour (エステティック・リカントウア)
術後評価

Section 3 Ana Biter による咬合接触の評価

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>